

## 令和6年度 第1回 浪江町環境審議会 議事録

■日時：2024年10月9日（水） 10:00～11:00

■会場：浪江町役場本庁舎 2階中会議室

■出席者：（委員）川崎会長※、前司委員、伊藤委員※、佐藤委員、會澤委員、  
澤村委員 ※はオンライン出席  
（事務局）産業振興課 板垣主幹、小林係長、藤坂

### ■次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
  - （1）報告事項
    - ・ 浪江町の脱炭素施策について
  - （2）協議事項
    - ・ 今後の環境審議会の進め方について
- 4 閉会

### ■配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料1：会議名簿
- ・ 資料2：座席表
- ・ 資料3：議事（1）報告事項
- ・ 資料4：議事（2）協議事項

## ■議事録

1・2. 開会あいさつ	
事務局	ただいまから令和6年度第1回浪江町環境審議会を開催いたします。 まず、開会にあたって会長である川崎先生よりご挨拶をいただきます。
会長	本日はお集まりいただきありがとうございます。 昨年度は脱炭素に関する具体的な施策について審議した。 今年度は施策の進捗状況の確認と次年度以降の施策審議、環境基本計画の骨子の審議について協議していく場となる。 委員のそれぞれの立場から幅広く意見を交わしていただきたい。
3. 議事	
事務局	それでは議事に入らせていただきますが、議事進行については会長である川崎先生にお願いいたします。
会長	それでは次第に沿って進行する。 議事（1）浪江町地球温暖化対策推進本部について、事務局より説明をお願いしたい。
議事（1）確認事項「浪江町の脱炭素施策について」	
事務局より資料3に基づき、町の脱炭素施策の進捗状況について説明を行った。	
会長	事務局からの説明について質問等はあるか。
伊藤委員	情報提供をさせていただく。 現在舞台ファームでは、秋田県でペロブスカイト太陽電池も活用したソーラーシェアリング事業に取り組んでいる。収量も変わらず営農ができており、確かな手ごたえを感じている。 また、弊社は中国の会社と直接取引をしており、大型バッテリーを安価に提供することが可能なので、ご入用の際は一声かけていただければと思う。
事務局	町としては、企業のソリューションを展開しやすい環境を作り、町全体での脱炭素化に取り組んでいきたいと考えております。 当系の管轄外の話ではありますが、ソーラーシェアリングの相談は多く寄せられているものの、ほとんどが農業メインではないと聞いております。発電と営農が共存したものを推進したいと考えております。
伊藤委員	最近では、農業メインでないものは国の方ではじかれていると聞いている。
会長	自分の方でも良くない事例は耳にしている。市町村レベルでの規制や条例制定が必要な場合も出てくるだろう。
會澤委員	弊社からは2点質問させていただく。 まず、現在、蓄電コンクリートの開発を進めており、町からの実証フィールドの提供や資金的な補助をいただけたらと考えているが、何かあるか。 次に、伊達重機さんへの質問になるが、水素を事業としてやってきて、困ったことや町にやってほしいことは何かあるか。

前司委員	<p>水素ステーションの採算が取れないことは以前から変わらないが、一番困っていることは、FCV が増えても、水素の調達費や点検費が下がらないこと。他県の事業者がリタイヤを検討していると聞いた。補助金ありきの構造から変えていかないといけない。</p> <p>町にお願いしたいことについては、現在弊社で水素ホテルの運営を企画しているが、環境省と経産省の補助金がぶつかっているので、その調整に協力頂きたい。また、企業が少しずつでも水素事業に取り組めるように PR をお願いしたい。</p>
事務局	<p>蓄電コンクリートに係る補助等については、個別具体に対応させていただきま</p> <p>す。</p> <p>伊達重機様には水素連絡協議会なども含め総合的に活動いただいている中、町としては運営補助も大事ではあるものの、特区申請等の構造改革を進めるため国にアプローチしていきたいと考えています。</p> <p>PR については今後も継続して行っています。</p>
会長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>無いようであれば、議題（２）協議事項「今後の環境審議会の進め方について」事務局から説明をお願いします。</p>
議事（２）報告事項「今後の環境審議会の進め方について」	
事務局より資料４に基づき説明を行った。	
会長	以上の説明について質問等あるか。
伊藤委員	温暖化対策総合計画の PR はしないのか。他自治体と話をした時も、「脱炭素ってなにからすればいいのか分からない」という自治体も多いと感じており、対外的にもっと周知してよいと思う。
事務局	<p>これまで、自治体が集まる場などで、何度か登壇・発表させていただきました。</p> <p>しかし、町内に向けた PR についてはまだ足りていない状況です。水素祭や脱炭素アワードだけでなく、SNS も活用した周知を進めたいと考えています。</p> <p>もし企業向けの発表の場があればぜひご紹介ください。</p>
伊藤委員	弊社で受けるテレビ取材を浪江町でやるのもいいかもしれない。
前司委員	推進区域について、産業団地に再エネ意識の高い企業の参入の話などはすでに来ているのか。
事務局	データセンターや蓄電所の相談が来ています。ほかの団地と競合する場合があります。浪江町を選んでいただけるように活動してまいります。
佐藤委員	<p>最近町内で似たようなアパートがどんどんできている（300 世帯分くらい？）。</p> <p>こうした建物が脱炭素や PV を使っているのか、町としてもチェックした方が良いのではないか。</p>
事務局	ご指摘の通りです。現在新築の際に脱炭素に関する項目をチェックする仕組みはないため、今後何らかの形で取り組みたいと思います。

澤村委員	地球温暖化対策総合計画のPRについて、町内や企業向けのPR効果についても定点的・定量的にチェックすべきだと思う。意識の変化を把握するための町民アンケートなどが良いと思う。住友商事としても協力できる。
事務局	ご指摘の通りです。町全体を対象としたアンケートなどは、DXも絡ませて可能な限り負担の少ない方法で取り組みたいと思います。
会長	他に質問はあるか。 無いようであれば、本日予定していた議事について、全て終了したので、進行を事務局にお返しする。
4. 閉会	
事務局	川崎会長、議事の進行をありがとうございました。 それでは閉会にあたりまして、産業振興課の板垣よりごあいさつを申し上げます。
板垣主幹	本日、課長の蒲原が出張のため、代わって挨拶させていただきます。 昨年度までの審議会において、重要な計画に関する審議や提案された脱炭素施策へ意見照会等にご助力いただきました。 今年度は脱炭素施策の検討・意見照会や環境基本計画の審議などをお願いしたいと存じます。 10月末をもって2年間の任期が終了となり、現委員の皆様におかれましては、お忙しい中委員を勤めていただき、誠にありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。 以上を持ちまして、令和6年度第1回環境審議会を閉会いたします。